

雨も、また楽し

『おじさんのかさ』

佐野洋子／作・絵 講談社

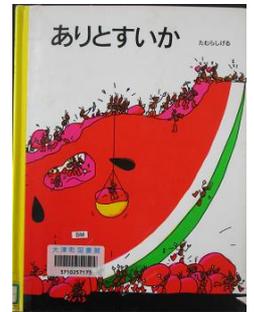
雨の日におじさんが出会った素敵なかさ。りっぱなかさがぬれるのがいやで、かさをさそうとしないおじさん。ある雨の日、子どもたちの歌をきいたおじさんは、はじめてかさを広げてみました。すると……。



『ありとすいか』

たむらしげる／作・絵
ポプラ社

ある夏の午後、すいかを見つけたありたちは、巢に運ぼうとしてみんなで力を合わせて押しますが、びくともしません。そこで---



『せんたくかあちゃん』

さとうわきこ／作・絵 福音館書店

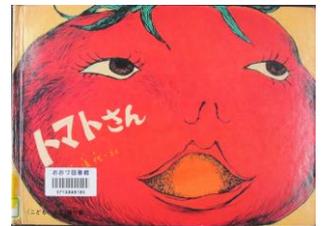
“せんたくの、だいのだいのだいすきな”たくましいかあちゃんと、ユーモラスなかみなりとの間に繰り広げられる、けたはずれに楽しくて元気のいい物語です。



『トマトさん』

田中清代／作 福音館書店

ある暑い夏の日。真っ赤なトマトさんは小川に泳ぎに行きたくなりました。でも、体が重たいので転がることができません。悲しくなったトマトさんは涙をぼろりと落とします。



『そらいろのたね』

なかがわりえこ／文 おおむらゆりこ／絵
福音館書店

ゆうじが自分の模型飛行機ととりかえた空色のたねをまくと、空色の家がはえてきました。「ぐりとぐら」のコンビによってつくられたとびきり楽しい絵本。



『雨、あめ』

ピーター・スピーア／作
評論社

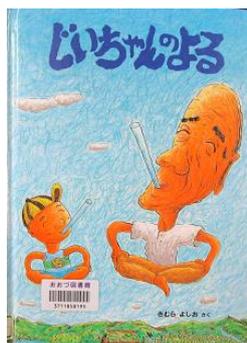
雨がふってきた。おねえちゃんとおとうとは雨具にきかえ、かさをさして外にでる。水たまりであそんだり、雨水の流れをみたり…。雨の中でいきいきと変化する、いつもとちがうせかい。すばらしい雨の一日を描いた、ことばのない絵本。



『じいちゃんによる』

きむらよしお／作 福音館書店

大人なのにカルピスをジュルジュルすすったり、花火を振り回したり…。子どもみたいなじいちゃん。でも、不思議な力を持ってる。そんなじいちゃんと僕の夏休みを描きます。



『いいから いいから』

長谷川義史／作 絵本館

「いいから いいから」なんて気持ちのよいことば。こころがほぐれていきま～す。「いいから いいから」このおじいちゃんのおおらかさ。肩のちからがぬけていきま～す。ゆたかな笑顔が生まれる一冊！

